

関連項目：教育活動プラン⑤

子どもの意欲を大切にし、あいさつ・廊下歩行の推進を図る

目的

本校の児童は、生活習慣の基本である「あいさつ」や落ち着いて行動する「ろうか歩行」が不十分である。そこで、児童会を中心として「あいさつ」と「ろうか歩行」の推進に取り組む。

内容

● 代表委員会で話し合う

代表委員会で、氷上小の児童ががんばらなければいけない課題をいろいろと話し合った結果「あいさつ」「ろうか歩行」「仲良くする」がきまった。この3つのことをがんばって氷上小をもっといい学校にしようという取り組みを『氷上っ子ハッピー3プロジェクト』として全校に知らせた。学級や学年でどんなことができるかを考える場も数回とり、話し合った。

● 氷上っ子ハッピー3プロジェクトの具体的活動

(1) あいさつ運動の取り組み

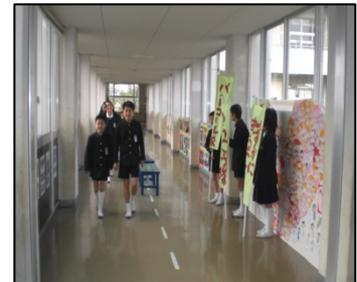
6年生が中心となって、11月にあいさつ運動を行った。朝、校内数カ所のポイントに立ち、登校してくる児童にあいさつをする運動。進んであいさつができた児童にはシールを配り、台紙にシールが全部貼れた児童には賞状を渡すことで、意欲化を図った。



(2) ろうか歩行の取り組み

5年生が中心となって12月、1月とろうかの右側を静かに歩くことを呼びかけた。業間休みと昼休み（最後の5分間）に校内のポイントで右側歩行を呼びかけ、静かに歩いている児童にはシールを配った。クラスに台紙を渡し、シールが100枚たまったら賞状を渡し意欲化を図った。

週末には廊下歩行の様子や、がんばっているクラスと児童を放送で紹介した。



(3) 仲良くする取り組み

あいさつやろうか歩行をがんばったごほうびとして、全校生で楽しい集会をしようと呼びかけ、5年生の実行委員を中心として、お楽しみ集会を2月下旬に行う。内容は各クラスで話し合った中から代表委員会で決定する。

● ニコニコ生活委員会の取り組み

「0」と「8」のつく日をオッハー曜日として朝、児童玄関やくつ箱周辺であいさつ運動を行っている。大きな声であいさつができたり、進んであいさつができた児童の氏名を書きとめ、給食中に放送で紹介して賞賛したり、あいさつの様子を詳しく知らせたりしてあいさつの意識を高めていった。

1月に入ってから、4年生や2年生がボランティアであいさつ運動に参加する姿が見られるようになった。



● 最高学年に向けての5年生の取り組み

最高学年に向けての意識を高めるため、各実行委員会（6年生を送る会・ハッピースリープロジェクトのお楽しみ集会・あいさつ運動・廊下歩行の呼びかけ）を作り、活動を行う。

成果

こうした取り組みをすることで、自分たちでよりよい学校を作っていくという意識は少しずつ芽生えてきたようだ。朝のあいさつの声が大きくなったり、あいさつを進んでする児童も少しずつ増えてきた。また、ろうか歩行も下級生を中心に静かに歩く児童も増え。よかったことは生活目標と関連させ、がんばりカードで振り返ったり、あいさつ・廊下歩行ともに声かけをしてもらおうよう担任をはじめ、教員の共通理解が図れたりした。継続して取り組むことで定着を図っていきたい。